

事務 事業名	コード1	43200	社会体育施設改修事業	事業 種別	☐ 国土強靱化地域計画	課	体育振興課				
	コード2				☐ 新市建設計画	所属班	体育施設班				
施策 体系	施策	6	スポーツの振興	☐ 総合戦略 ☐ 復興計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 行政改革アクションプラン ☐ 主要事業 ☐ 簡易評価	電話番号	64-1101	内線				
	施策の展開	14	スポーツ施設の維持管理		予算 科目	会計			款	項	目
						一般会計			10	5	2
					根拠 法令	旭市社会体育施設の設置及び管理に関する条例					

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述→	旭市総合体育館、旭スポーツの森公園野球場、旭スポーツの森公園庭球場、旭市弓道場、旭市卓球場、旭文化の杜公園庭球場、海上野球場、海上コミュニティ運動公園野球場、飯岡体育館・野球場・庭球場、いいおかふれあいスポーツ公園サッカー場・ソフトボール場・多目的広場、干潟さくら台野球場・庭球場各社会体育施設(16施設)の大規模な改修工事を行う。 【業務の流れ】 各社会体育施設の大規模な改修工事に関する業務

(2)トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績)		単位:千円	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	
1.野球場改修工事	20,466	海上コミュニティ運動公園野球場(2,646)、旭スポーツの森公園野球場整備工事(17,820)	千円		2,594	20,466	2,490	
2.庭球場改修工事	843	旭スポーツの森公園人工芝補修工事	千円			843	11,664	
3.総合体育館改修工事	0		千円					
4.解体・撤去工事	0		千円	46,482				
5.測量・設計委託料	0		千円	500			10,044	
② 特定財源の内訳(26年度の実績)		単位:千円	事業費計(A)	千円	46,982	2,594	21,309	24,198
1.国庫支出金	0		千円					
2.都道府県支出金	0		千円					
3.地方債	0		千円					
4.その他	0		千円					
前年度比増減理由:			1.国庫支出金	千円	46,982	2,594	21,309	24,198
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績)		単位:時間	2.都道府県支出金	千円				
設計業務・契約事務業務・工事監督業務等各種改修工事に必要な業務	400	時間	3.地方債	千円				
			4.その他	千円				
			5.一般財源	千円	46,982	2,594	21,309	24,198
			人件費	人	0.20	0.10	0.20	0.20
			延べ業務時間	時間	400	200	400	400
			人件費計(B)	千円	1,520	760	1,520	1,520
			トータルコスト(A)+(B)	千円	48,502	3,354	22,829	25,718

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) 大規模改修工事を実施	ア 改修工事を実施した施設数	箇所	1	1	3	2
目的	27年度計画(27年度に計画している主な活動) 大規模改修工事を実施 改修工事に伴う設計業務を委託	イ 設計業務の委託数	件	1	0	0	1
		ウ					
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	社会体育施設	ア 社会体育施設数(社会体育施設として稼働している施設数)	箇所	16(10)	16(13)	16(13)	16(16)
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
	施設を良好に維持管理するため大規模に改修し利用者に供する。	ア 社会体育施設の延べ利用者数	人	157,214	169,787	177,903	182,000
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	イ ()					
	市民が運動習慣を通じて体力が向上する(スポーツ技術の向上、交流の促進)	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)
		ア 市内スポーツ施設の延べ利用者数	人	157,214	169,787	177,903	182,000
		運動習慣が身につけている市民の割合	%	未把握	未把握	未把握	未把握

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成17年7月1日の1市3町の合併から、それぞれの市町で整備された社会体育施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業が始まった。	平成17年7月1日合併時の社会体育施設は、17施設あったが、平成24年3月に海上体育館及び海上庭球場が廃止され、また、平成24年4月に文化の杜公園庭球場が新設され現在16施設の良好な管理運営をするための大規模改修事業を行っている。	・各種競技専用の施設を整備してもらいたい。(サッカー専用場・硬式野球場) ・類似施設の廃止(施設の統廃合)

事務事業名	社会体育施設改修事業	課名	体育振興課	班名	体育施設班
-------	------------	----	-------	----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 施設の大規模改修を実施することにより、その機能が良好な状態で利用に供されることから、市民が運動習慣を通じて体力が向上することに結びつく。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象等については、拡大の余地はなく適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市有施設である。また、市民が安心して快適にスポーツ活動を行う上で欠かすことができない事業である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 妥当である ⇒【理由】 社会体育施設の延べ利用者数は増えているが、稼働率にはまだ余裕があり、見直し余地がある。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するとどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？	☒ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 経年劣化による破損・損傷が多く施設に発生しており、予算を増額することにより、施設等の維持管理が充実する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☒ 他に手段がある (1) 事務事業名：(社会体育施設管理費、総合体育館管理費) (2) ☒ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 各施設の過去の所管課の違い等から別事業となっているが、既に連携して事業を実施している。但し、今後一本化して事業を行うことは可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分） 事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 施設の統廃合を進めることで事業費を削減する余地はある。
	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分） やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 社会体育施設の大規模改修を実施するため、臨時職員の活用は困難である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 旭市使用料及び手数料に関する条例の規定により、使用者から使用料を徴収している。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1)1次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	社会体育施設全体の経年劣化による、損傷が激しい施設が多くなってきているので、全施設の劣化状況を把握する必要がある。把握後、大規模改修を計画する場合は優先順位を付けての改修計画が必要である。
② 有効性	☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	
③ 効率性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	
④ 公平性	☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1)今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☐ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業： ☒ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止		(3)改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
					コスト																		
			削減	維持	増加																		
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						
(2)改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ <table border="1"> <tr> <th>いつまでに</th> <th>なにを、どうするのか？</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>各社会体育施設の劣化状況を把握する。</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>優先順位を決め大規模改修計画を立案する。</td> </tr> </table>		いつまでに	なにを、どうするのか？	平成27年度	各社会体育施設の劣化状況を把握する。	平成28年度	優先順位を決め大規模改修計画を立案する。																
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
平成27年度	各社会体育施設の劣化状況を把握する。																						
平成28年度	優先順位を決め大規模改修計画を立案する。																						
(4)改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 施設の大規模改修を実施すると、大きな予算が必要となる。また、totoのスポーツ振興くじ助成金制度があるが、改修方法等により助成対象とならない場合もあり大規模改修計画立案時に検討する必要がある。																							